

TOPIC

株式会社 KMC

業種 技術サービス業、ソフトウェア開発業
事業内容 製造業向け技術コンサルティング、ソフトウェア開発、IoT/M2M販売
創業 2010年2月
代表者 代表取締役社長 佐藤 声喜
所在地 川崎市高津区坂戸 3-2-1KSP 東棟 606
従業員数 25名



下 請け取引の適正化を目指す政策パッケージ「未来志向型取引慣行に向けて（世耕プラン）」が経済産業省によって推進されています。課題のひとつである「金型管理」において、川崎市は金型情報をクラウド上で一元管理できるサービスの導入を生産性向上のモデル事業として支援しており、開発元である株式会社 KMC にサービスの特徴などについて話を伺いました。

中小企業連携「金型管理クラウド」で 金型を取り扱う工場のムダをなくして生産性を向上

開発背景 金型管理が中小企業の経営の支障に

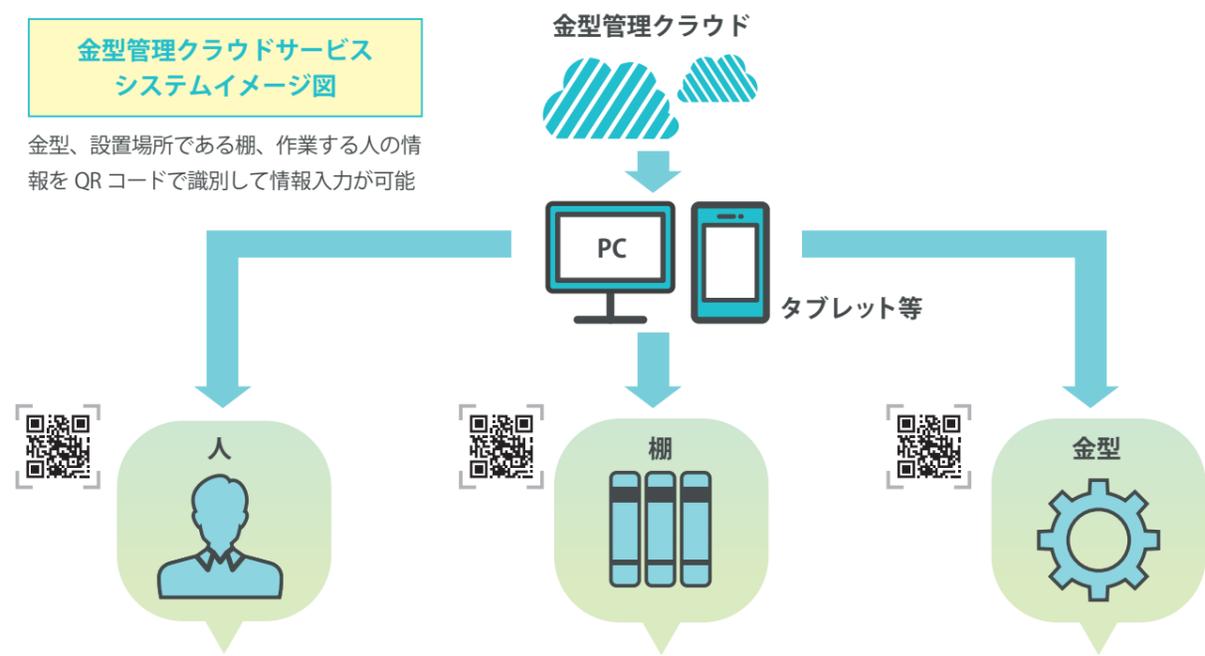
金型を使った成型加工を手がける中小企業において大きな課題のひとつとされているのが金型管理です。保管する型数は多い会社で 1000 型にもものぼると言われており、メーカーの所有物である大量の型を下請け企業が無償で保管・管理するという構図が慣例になっていました。金型の保管期間は長いもので 10 年以上のものもあり、**中小企業の工場には、様々な金型が無造作に置かれている**という状況が珍しくありません。また、こうした操業環境では、**限られた作業スペースを圧迫**することはもちろん、発注のあったパーツの金型を**検索する手間もかかるため生産性を低下**させ、**結果的に従業員の負担増や経営に支障が出るという悪循環**を生みだしていました。

サービスの特徴 QRコードとクラウドシステムで金型が一元管理できるように

川崎市が導入を支援する(株) KMC の「**金型管理クラウド**」は、金型管理における課題を大きく改善できるシステムとなっています。金型には「**QR 銘板**」という QR コードを刻印した高耐久・高耐熱、防錆加工も施したプレートを装着。この QR コードをタブレットで読み込むことで、これまで煩雑に管理されていた**金型の基本情報、所在、過去のメンテナンス情報、棚卸しのデータが一目瞭然**になります。データはクラウド上にアップロードするため、サーバなどを企業単位で用意する必要はなく、**インターネット環境さえ整っていれば低コストで使用**できるというものになっています。また、デジタル機器にも不慣れな方にも活用しやすいよう、わかりやすい操作画面が採用されています。

金型管理クラウドサービスシステムイメージ図

金型、設置場所である棚、作業する人の情報を QR コードで識別して情報入力が可能



金型管理クラウド導入事例

事例 1 有限会社 東邦プラテック 川崎市宮前区潮見台 7-3

導入前の課題

従来は使用履歴などを Excel で管理していたが、どうしても煩雑になり、使用頻度の低い金型などがなかなか見つからない、金型全体の保有状況が把握できないなどの課題があった。

導入後の効果

800 型近くもの金型を保管する同社では、試験的に 100 型に QR 銘板を装着し、管理を実施。検索時間は約 73% の削減効果が見られた。



タブレット端末で金型のQRコードを読み込む

事例 2 株式会社 松本製作所 川崎市中原区井田杉山町 17 番 35 号

導入前の課題

大型の金型が多く、最大 2 トンもの金型が使用頻度を問わず、工場の床に積み上げて保管されていた。検索時間がかかるだけでなく、安全管理の面でも懸念があった。

導入後の効果

試験的に 50 型をクラウド上で管理し、検索時間の効果を測定。検索者の知識やスキルに依存せず大幅な時間短縮につながっただけでなく、金型の保管場所についても使用頻度に合わせてレイアウトが検討されるようになった。



クラウド管理により整理整頓の意識も高まった

2社共通導入の効果

- ① 検索時間が大幅に短縮
- ② 担当者以外でもスムーズな検索が可能
- ③ 管理が出来ている企業としてイメージアップ
- ④ 廃棄や返却リストの作成が可能
- ⑤ 金型の問合せ対応がスムーズに
- ⑥ 整理整頓の意識も高まる

成果

金型の年間検索時間（試験導入時点）

約 42～45 時間削減

（5 営業日分に相当）

（検索時間（東邦プラテックは約 73%、松本製作所は約 61% の削減）

今後期待できる効果

- ・管理システムへの慣れによるさらなる検索時間の短縮
- ・金型入替時間の削減で作業工数のさらなる削減
- ・金型置き場の縮小で、スペースを有効活用
- ・金型の使用頻度管理によりメンテナンスが効率的に



株式会社 KMC 代表取締役社長 佐藤 声喜氏
システム開発担当 黒羽根 悠氏

導入コストも含め、中小企業の負担を大きく軽減するために開発しました

大手企業のように金型を 1 社で管理しようとするとシステム開発費に多くのコストがかかってしまいます。中小企業の皆様が頭を悩ませている金型の保管や廃棄問題を大きく改善できるものにするのは当然ですが、ひとつのシステムを複数の企業で共有する「クラウドサービス型」の管理システムにすることで、導入のネックとなる大幅なコストの削減を実現しました。現在、我が社の取り組みが川崎市の「生産性向上・働き方改革モデル創出事業」に採択され、地元の中小企業約 290 社が集まる高津工友会の協力も得ながら、検証を行っています。良好な報告があがってきております。これまでにない発想で開発された「金型管理クラウド」がより多くの中小企業の皆様のお役に立てることを願っています。